



# 聖日礼拝プログラム

今週のみことば

司会者	北村正昭兄	奏楽者	渡邊頼子師
讃美	新211 天なる喜び	—	同
主の祈り			
讃美	新202 一度死にしわれをも	—	同
交読	詩篇 63 : 1 ~ 11	—	同
祈禱		司会者	—
報告		司会者	—
聖書	マタイ 25 : 31 ~ 46	司会者	—
説教	「最も小さい者たちに」	渡邊貞雄師	—
献金	新392 主の愛の汝が内に	中川光子姉	—
頌祝	新 63 父、御子、御霊の	(起立) 一同	—
祈禱			

「…これらのわたしの兄弟たち、  
それも最も小さい者たちの一人に  
したことは、わたしにしたのです。」  
マタイ二五・四



受 = 中西兄 / 操 = 真理姉 / A = 中川兄 / 報 = 牧師

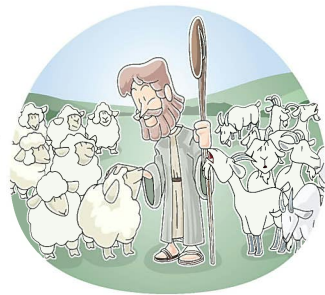
〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会  
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄  
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

2023年11月19日 VOL47-47 No. 2455 URL <http://matukyo.com/>  
 Email [sadao@mctv.ne.jp](mailto:sadao@mctv.ne.jp)

## ご報告・消息欄

- ▼ 先週から大部、寒さも加わってまいりました。風邪やインフルからも守られるように祈り合いましょう。
- ▼ 先週15日(水)夜は、COGの「合同祈禱会」に加わることが出来ました。3頁に集合写真(ZOOM)が載っています。
- ▼ 今週の23日(木)は、「勤労感謝の日」の祝日です。忙しい日頃のご奉仕とお働きの守りを覚えて、主への感謝をささげましょう。

- ▼ 昨日の夜に、COG「教役者生涯対策プロジェクト」(ZOOM)の会合が持たれました。教役者の今後のためにもお祈りください。
- ▼ 「らくらく連絡網」は新しい「らくらく連絡網+」に、今週末から移行して利用開始の予定です。



# にれ はみ

2023年11月12日  
聖日礼拝  
ルカ18:15~17  
「子どものように」  
説教 渡邊貞雄師



ここは短い日常生活の一コマのように思える。しかし、幾つかの意味で驚き(ショッキング)の光景でもあった。

## I、「弟子」ショック

弟子たちは、子どもの手を引き抱いてきた幼児(乳飲み子)を多分、「うるさい」とか「忙しい」とか、「子どもの来る処ではない」と叱られた(15)。それをご覧になった主イエスは、叱った弟子たちを叱られました(16)。

当時の婦人や子どもは、一人前の数にも入らないという時代的背景があった。しかし、主イエスと弟子たちの心は、ここで大きくかけ離れていたことが浮き彫りにされてしまった。それでいて弟子たちは、主の奉仕を熱心にし、お役に立っていると大きな勘違いをしていたのでした。

## II、「神の国」ショック

ここに「神の国」(16、17)と2回ある。主イエスは「神の国」に一番ぴったりする説明は、子どもたちの姿にあると語られた(16)。なぜそう語られたのか。これは大人は悪いことをするが、子どもは悪いところがないとの極論ではない。「子どものように神の国を受け入れる者」(17)とあり、

「神の国」との類似がある。①「信じること」、②「受け入れること」において、子どもは卓越した要素を持っている。

大人は物事を知って自論を組み立て、論争でも武装する。また人の顔色を伺い、先々を考えて返答ができる。しかし子どもは、単純、純粋、素直という素晴らしい特徴に満ちている。

## III、「ジーザス」ショック

弟子たちは長い学びと訓練を受け、主と寝食を共にしてきた。しかし、子どもを叱った姿に、主はショックを受けられた。

叱られた経験は、実は貴いものだ。何をしても間違っても叱られない人は、可哀想な人ではないだろうか。「その打たれし傷によりて、われらは癒されたり」(イザヤ53:5)とある。主は肉体の痛みと弟子たちの愛のない行ないで心を傷められた。私たちは子どものように御前に出て、主の流された十字架の血潮によって許され癒される。

「主われを愛す」(新聖歌505番)がある。主は私たちをどこまでも愛してくださるとある。この歌を大人も子どもも歌わせていただく。



COG合同祈禱会  
2023 11 15 (水)

参加者のスナップ  
(左) & (下)

参加者合計  
119名  
祈りを感謝!

お勧め 関昌宏理事長  
コロナサイ書一章三〜一〇



◎11/15 (水) 祈絵「祭壇の火は絶えず」  
渡邊師 レビ6:12、コロサイ1:3~10

(第一部) 祭壇の火(祈り)は、消えないよう細心の注意で燃やし続ける必要があった。それは「全焼のささげ物」(献身)、「交わりのいけにえ」(和解)のために必要であった。祈りで心の火を燃やし続けるとき、献身や神との和解(交わり)の素晴らしさが見えてくる。

(第二部) COG「合同祈禱会」に出席。関昌宏理事長より、コロナサイ書から

「クリスマスの諸集会を前にして」と語られた。信仰と愛の実践が為されることは素晴らしい。

「福音の真理のこぼれ」(5)、恵みの福音が伝わる時、変えられる。情報過多の時代、神のこぼれをしっかりと受けとめ、人となられ共に住んで下さる主イエスを、伝える者とさせていたごう。



## 「今後の集会予定／教会情報」

◎11/22(水) 祈禱会 (ZOOM) (PM7:00)

◎11/25(土) 清掃奉仕 (AM9:30)

◎11/26(日) 楽しい組会 (AM10:00)

◎11/26(日) 聖日礼拝 (AM11:00)

◆祈禱会(司)北村兄(説)渡邊師

●来週礼拝ルカ12:4~7

●主題「一羽の雀も」

## 定期集会のご案内

◇楽しい組会(日)午前10:00~10:45

◇聖日礼拝(日)午前11:00~12:00

◇早天祈禱会(火土)朝6:30~7:00

◇祈禱会(水)午後7:00~8:15

## 来週の奉仕者

◎礼拝司会 中西兄

◎礼拝奏楽 頼子師

◎礼拝献金 真理姉

◎受付 中川兄

▽教会学校 随時

▽ヤング 随時

▽さー来る① 当日

▽さー来る② 当日

▽さー来る③ 当日

▽昼食当番 なし

▽アッシャー 福田姉

▽SS入力 頼子師

▽PPT操作 幸子姉

《《《2023年 松阪教会スローガン「乗り越える！」(+)《プラス》》》》  
「ヨセフは実を結ぶ若枝…その枝は垣を越える」(創49・22)

## 礼拝の心得

- ①聖書のヨハネ4:24に「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」とあります。
- ②始まる時間と5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。
- ③賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことに耳を傾けましょう。
- ⑤献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心から喜んでおさげしましょう。
- ⑥その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。



誰かの  
記憶に  
残るって、  
と、マモ  
しあせなこ。

